

令和元年度事業報告

本年度において実施した協会運営及び協会事業について、次のとおり報告させていただきます。

1 協会の運営状況

(1) 会員の状況

令和2年3月31日現在の会員数は530社（うち正会員473社、賛助会員57社）です。令和元年度に会員9社（正会員6社、賛助会員3社）が加入され、会員5社（正会員4社、賛助会員1社）が退会し、令和元年度としては、4社の増となっています。

(2) 総会、理事会等の開催

ア 総会

第7回定時総会を5月28日、ホテルレイクビュー水戸で開催し、平成30年度の事業報告及び収支決算報告、役員の改選について審議され、原案どおり承認されました。また、令和元年度の事業計画及び収支予算について、平成30年度公益目的支出計画実施報告書について報告がなされました。

（出席者 357社 うち書面議決書提出 202社 委任状提出 47社）

イ 臨時総会

臨時総会を12月23日、協会事務室で開催し、監事の選任について審議され、原案どおり承認されました。

（出席者 348社 うち書面議決書提出 291社 委任状提出 52社）

ウ 理事会、正副会長会議の開催

(7) 理事会

8回開催。会員の入会の承認について、第7回定時総会議案書について、いばらき自民党への県政要望について、各業務委員会における令和元年度の事業計画について、令和元年度ボランティア不法投棄廃棄物撤去事業についてなどの議題について、審議しました。

（開催月日：4月25日、5月28日、6月14日、8月1日、10月10日、
12月5日、1月23日、3月12日）

(4) 正副会長会議

9回開催。理事会へ提案・審議する事項、委員会での審議事項など協会運営についての協議・検討を行いました。

（開催月日：4月25日、6月3日、6月14日、8月1日、10月10日、
10月15日、12月5日、1月23日、3月12日）

(3) 委員会等の開催

ア 総務企画委員会

3回開催。会員の確保方策、協会の運営状況等について協議したほか、3月5日の委員会では、令和2年度事業計画（案）等について協議・検討を行い、その結果を理事会へ提案・報告しました。

（開催月日 7月30日、11月25日、3月5日）

イ 適正処理委員会

2回開催。令和元年度の事業計画及び今後の活動方法について検討し理事会に報告するとともに、「産業廃棄物処理実務担当者研修会」を1月31日に茨城県開発公社（参加者110名）で開催しました。

（開催月日 7月30日、1月31日）

ウ 研修厚生委員会

4回開催。第21回親睦チャリティゴルフコンペ及び令和元年度先進地施設研修会について協議・検討し、厚生事業として第21回親睦チャリティゴルフコンペを10月24日に桂ヶ丘カントリークラブで開催し66名の参加がありました。参加者からの善意の募金43万2850円を茨城新聞文化福祉事業団の「愛の募金」に寄付しました。

（開催月日 7月16日、10月17日、10月24日、2月12日）

エ 広報調査研究委員会

1回開催。7月8日（月）委員会を開催し、令和元年度の事業計画を作成しました。事業計画に基づき、資源循環いばらきを7月、12月に発行しました。また、協会ニュースは、1年間で10号を発行し、会員の皆様に新しい情報を的確に広報することができました。

（開催月日 7月8日）

オ 安全衛生委員会

3回開催。7月8日（月）委員会を開催し、令和元年度の事業計画を作成しました。10月11日（金）には事業計画に基づき、KYT研修会（参加者34名）を、11月27日（水）にはリスクアセスメント研修会（参加者16名）を中央労働災害防止協会の協力を得て開催しました。

（開催月日 7月8日、10月11日、11月27日）

カ 協会設立30周年記念事業推進委員会

1回開催。7月30日（火）委員会を開催し、30周年記念式典及び記念誌の内容について検討しました。

（開催月日 7月30日）

キ 災害廃棄物対応委員会

2回開催。台風19号による災害廃棄物の処理に対応するため、委員会を開催し、協会が被災市町の求めに応じ災害廃棄物の処理を受託することを決定しました。

（開催月日 10月18日、10月21日）

ク 再生砕石専門部会

1 回開催。11月27日（水）に運営委員会を開催し、新たに部会長と副部会長を選出しました。

（開催月日 11月27日）

（4）青年部会

幹事会を5回開催。勉強会・研修交流会について検討しました。6月22日に開催したCSR活動「エコステーション運営（水戸FC v s 横浜FC）」では、地元の高校・大学生と一緒にゴミの分別やリサイクルに取り組みました。

（開催月日 4月11日、5月15日、7月4日、9月11日、1月15日）

2 協会事業の実施状況について

（1）調査研究事業

全産連等が実施した産業廃棄物処理業の景況動向調査をはじめ各種調査に協力・実施しました。

（2）研修講習事業

ア（財）日本産業廃棄物処理振興センター講習会

（ア）新規講習会

- ・産業廃棄物収集・運搬課程 （2回2日間 受講者 204名）
- ・産業廃棄物処分課程 （1回4日間 受講者 64名）

（イ）更新講習会

- ・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物収集・運搬課程 （4回1日間 受講者 387名）

（ウ）特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

（3回1日間 受講者 314名）

イ 茨城県産業廃棄物処理業者講習会

令和元年10月9日、ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県県民文化センター）で公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターの担当者及び茨城県県民生活環境部廃棄物対策課の職員による「電子マニフェストについて」「プラスチック類の適正処理について」の講習会が開催され、180名が参加しました。

（3）相談指導業務

ア 産業廃棄物の処分先の照会等

廃棄物処分先について、電話等による相談を受けたものについては、会員である収集運搬事業者・中間処理事業者・最終処分事業者の方々への紹介を積極的に行い、産業廃棄物の適正処理の推進を図りました。

イ 産業廃棄物処理業の許可取得に関する相談等

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業（収集運搬業、処分業）の許可取得や変更届などについて、会員の皆様方からの電話や来訪による相談に対応しました。

ウ 産業廃棄物処理施設の設置等に関する相談

産業廃棄物処理施設の設置等について、会員の皆様方からの電話、来訪による相談に対応しました。

（４）交流事業

ア 行政機関との意見交換会の開催

協会の円滑な運営と事業の展開を図るため、行政の方々と意見交換会を開催しました。

（開催月日 ８月１日）

イ 公益社団法人全国産業資源循環連合会関連会議

- | | | |
|--------------------|----|-----|
| ・ 第９回定時総会 | | 東京都 |
| ・ 全国正会員会長・理事長会議 | | 福島県 |
| ・ 全国正会員事務局責任者会議 | ２回 | 東京都 |
| ・ 産業廃棄物と環境を考える全国大会 | | 兵庫県 |

ウ 全産連関東地域協議会の関連会議

- | | | |
|-----------|----|---------|
| ・ 関東地域協議会 | ２回 | 東京都、茨城県 |
| ・ 事務責任者会議 | ２回 | 東京都 |
| ・ 事務担当者会議 | １回 | 茨城県 |

エ 新春賀詞交歓会

行政及び関係機関の方々と交流や会員相互の交流を行うため、ホテルレイクビュー水戸で新春賀詞交歓会を開催したところ、２５７名が出席しました。

（開催月日 １月２３日）

（５）広報啓発事業

ア 協会ホームページ等による情報提供 <http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp>

国、県、関連団体等からの行政情報及び協会で開催した各行事などについて、協会ホームページに掲載、情報提供の充実を図りました。協会会員等に対しては、各種の講習会、国、県、関連団体等からの最新情報を紙面で迅速に情報提供を行うと共に、「資源循環いばらき」を発行し各種の情報を提供しました。また、ファックスにより迅速且つ効果的な各種の情報提供を実施しました。

イ 新聞の活用

茨城県産業資源循環協会を広く県民に認知していただくため、茨城新聞や環境関係新聞へ掲載し、協会のPRに努めました。（掲載７回）

ウ マニフェスト（産業廃棄物管理票）使用の普及促進

(ア) 紙マニフェストについて

産業廃棄物排出事業者や建設系廃棄物の元請事業者などに47万1400セットのマニフェストを頒布し、併せて小冊子マニフェストシステムがよくわかる本を頒布し、その使用の普及促進に努めました。

(イ) 電子マニフェストについて

(公財)日本産業廃棄物処理振興センターが作成している小冊子(よくわかる電子マニフェスト)により会員及び排出事業者等への周知を行うとともに電子マニフェスト操作体験セミナーを2回開催(参加者54名)して普及促進に努めました。

(6) ボランティアU. D. 監視員制度運営事業(県委託事業)

ア 不法投棄監視パトロール実施状況等の運営管理

監視員500名の実施した不法投棄監視活動状況を集計管理し行政に報告しました。

イ 監視員登録証の更新手続き

協会監視員100名のうち2分の1の50名の登録証の更新手続きを行いました。

ウ ボランティア撤去U. D. 監視員合同研修会の実施

令和元年10月30日に、茨城県庁においてボランティア撤去U. D. 監視員合同研修会(参加者196名)を開催しました。

(7) 茨城県産業廃棄物再資源化指導センター事業(県委託事業)

ア 廃棄物の適正処理相談事業

廃棄物の適正処理に関する一般県民からの相談に対応しました。

イ ホームページによる情報提供

産業廃棄物のリサイクルに関する優良事業所の概要等について、ホームページ上に公開し、事業所や処理業者の方々の産業廃棄物の再資源化や有効利用についての情報を提供しました。

ウ 茨城県産業廃棄物適正処理指導啓発講習会の開催

2月21日、茨城県庁において、株式会社リーテムの浦出陽子氏を講師に、排出事業者を対象とした講習会を開催し、71名の参加がありました。

(8) 協会設立30周年記念事業

令和元年9月26日(木)に設立30周年記念式典をホテルレイクビュー水戸で開催したところ、217名が参加し交流を深めることができました。併せて設立30周年の記念誌を刊行し会員や関係機関に贈呈しました。

(開催月日 9月26日)

(9) 災害廃棄物処理事業(台風19号関連)

10月12日、本県を含め東日本一円に「令和元年東日本台風（台風19号）」による大規模災害が発生しました。県との災害協定に基づき、水戸市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町及び城里町から支援要請があり、常陸太田市、常陸大宮市、大子町及び城里町の4市町から、協会が災害廃棄物の処理を受託しました。このほかの市町村においても、協会会員が災害廃棄物処理に協力しました。

(10) 関連事業

ア 表彰事業

(ア) 全産連の表彰規定に基づく表彰

- ・ 地方功労者 2名
- ・ 優良事業所 1事業所
- ・ 地方優良事業所 5事業所
- ・ 優良従事者 5名

(イ) (一社) 茨城県産業資源循環協会の表彰規定に基づく表彰

- ・ 功労者 3名
- ・ 優良事業所 5事業所
- ・ 優良従事者 8名

(ウ) 環境大臣表彰

- ・ 循環型社会形成推進功労者等 1名

(エ) 知事表彰

- ・ 環境保全功労者 1名
- ・ 不法投棄防止功労者 1名

イ 不法投棄廃棄物ボランティア撤去事業

協会設立20周年の記念事業として平成21年度から実施してきたボランティア撤去事業については、行政をはじめ地域の大勢の方々の参加・協力を得て不法投棄廃棄物ボランティア撤去事業を実施しました。この事業は新聞にも取り上げられ、産業廃棄物処理業界のイメージアップに貢献しました。

- ・ 県央支部 令和元年 8月 2日実施
- ・ 鹿行支部 令和元年11月12日実施
- ・ 県南支部 令和元年11月16日、12月8日実施
令和2年 3月 1日実施
- ・ 県西支部 令和元年12月 8日実施
- ・ 県北支部 令和2年 2月14日、3月10日実施